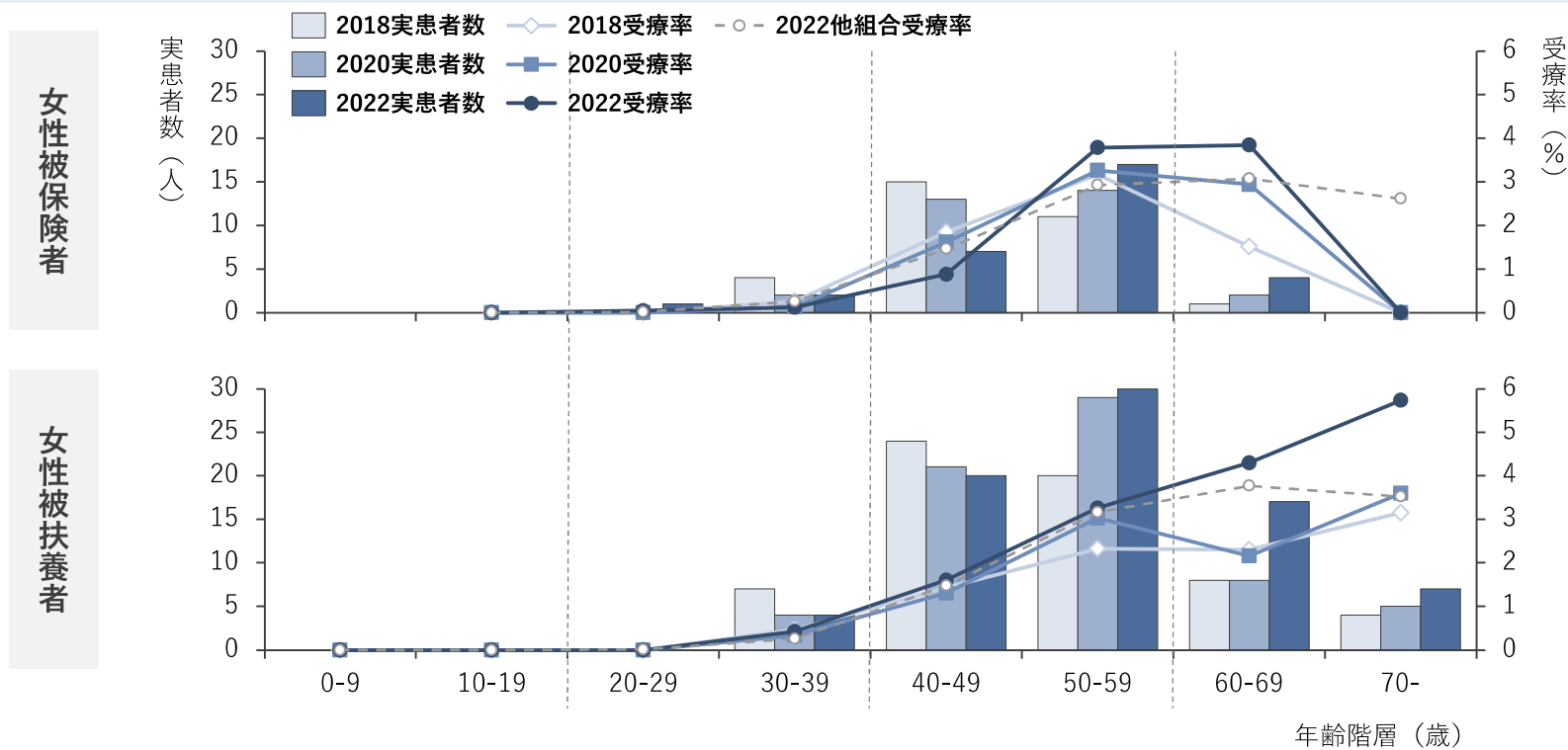


がん対策 〈乳がん〉

※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

- 患者数が40代、50代が多い
- 被保険者、被扶養者ともに50代、60代で他組合の受療率よりも高い

年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）

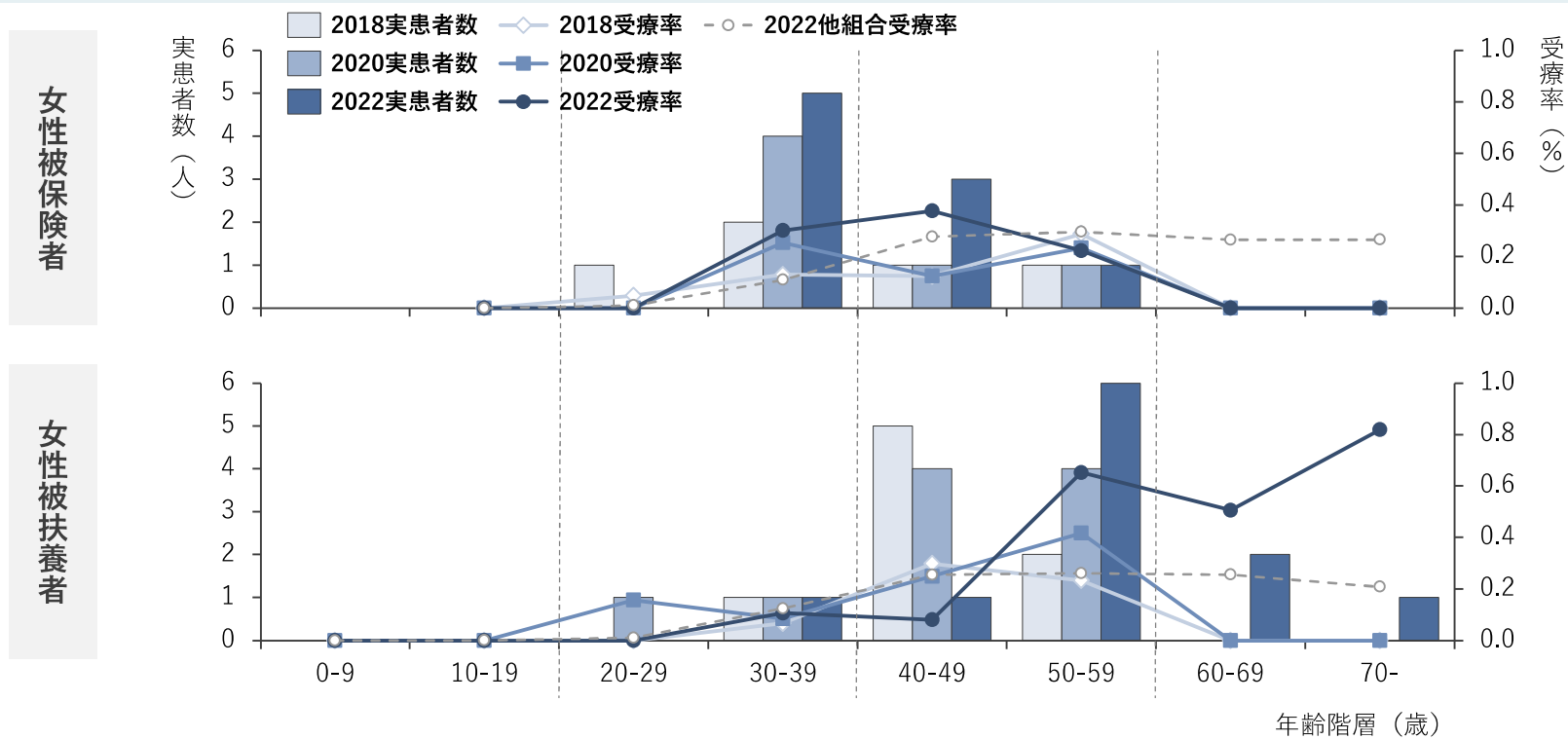


がん対策 〈子宮頸がん〉

※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

- 被保険者は30代で患者数、受療率が大幅に増加、30代、40代は他組合の受療率よりも高い
- 被扶養者は50代で患者数、受療率が増加している

年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）

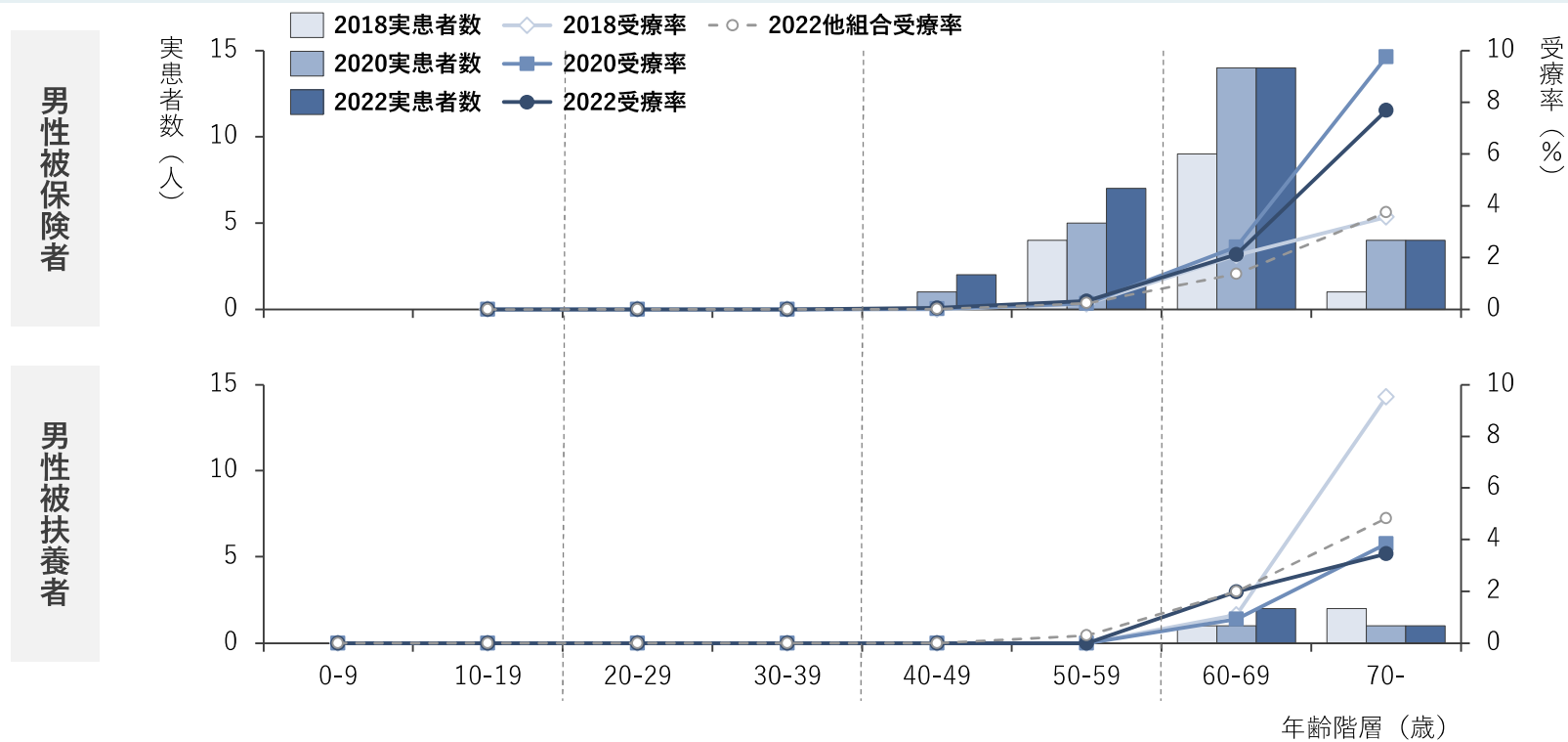


がん対策 〈前立腺がん〉

※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

●被保険者において、50代・60代で患者数が増加している

年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）

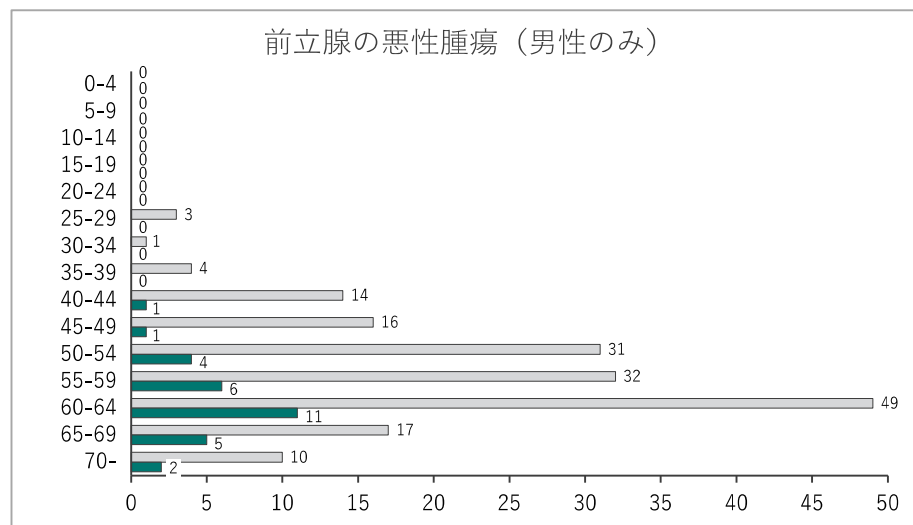
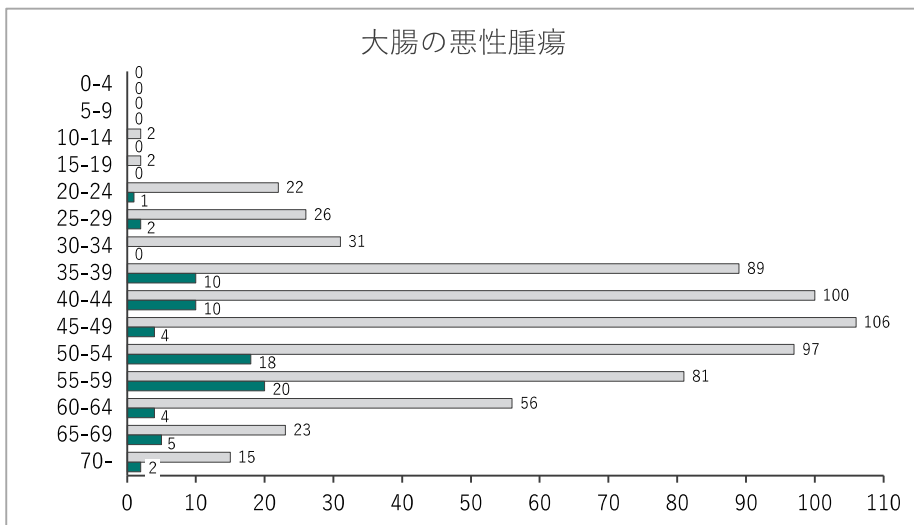
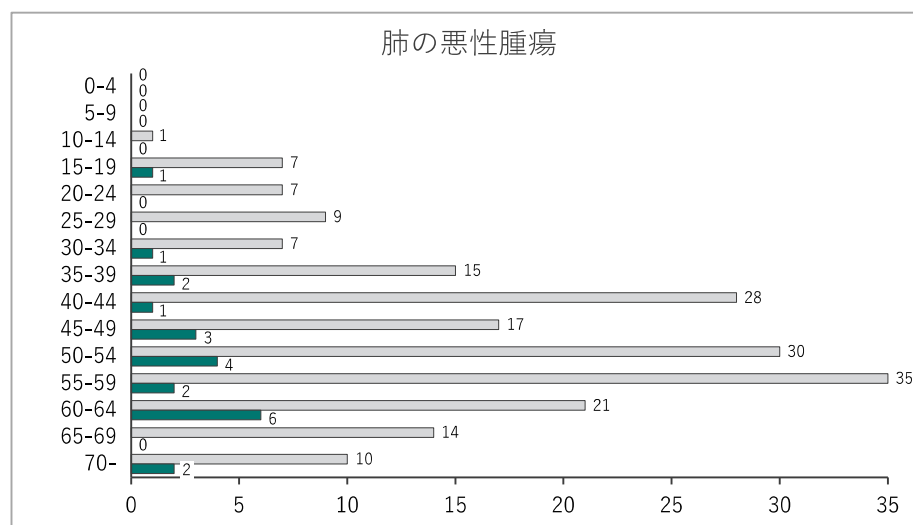
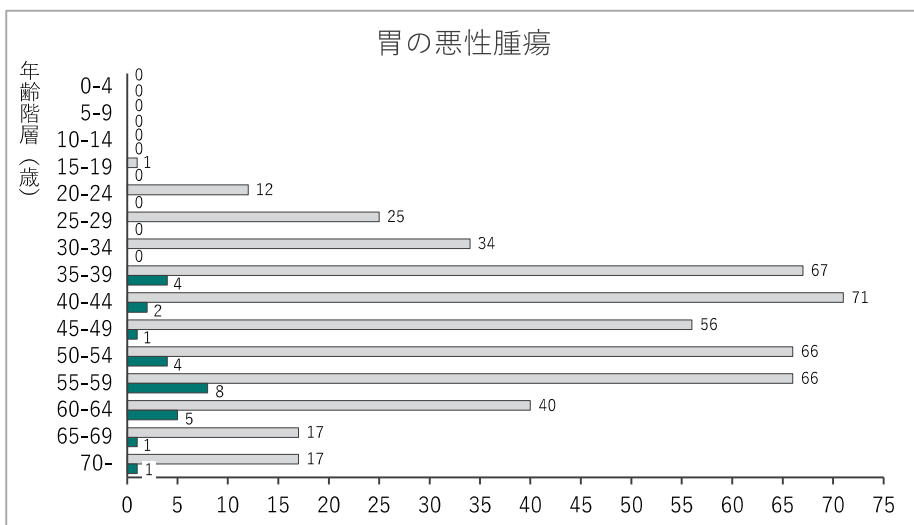


がん対策 〈診療開始日年齢分析〉

※対象：2022年度在籍者
 ※対象レセプト：医科（2022年度診療分）
 ※患者数：該当傷病で初めて受診した時点の年齢で患者数を集計

●各がんとも40代から患者数が増加傾向にある

■ 疑い含む患者数 ■ 疑い除く患者数

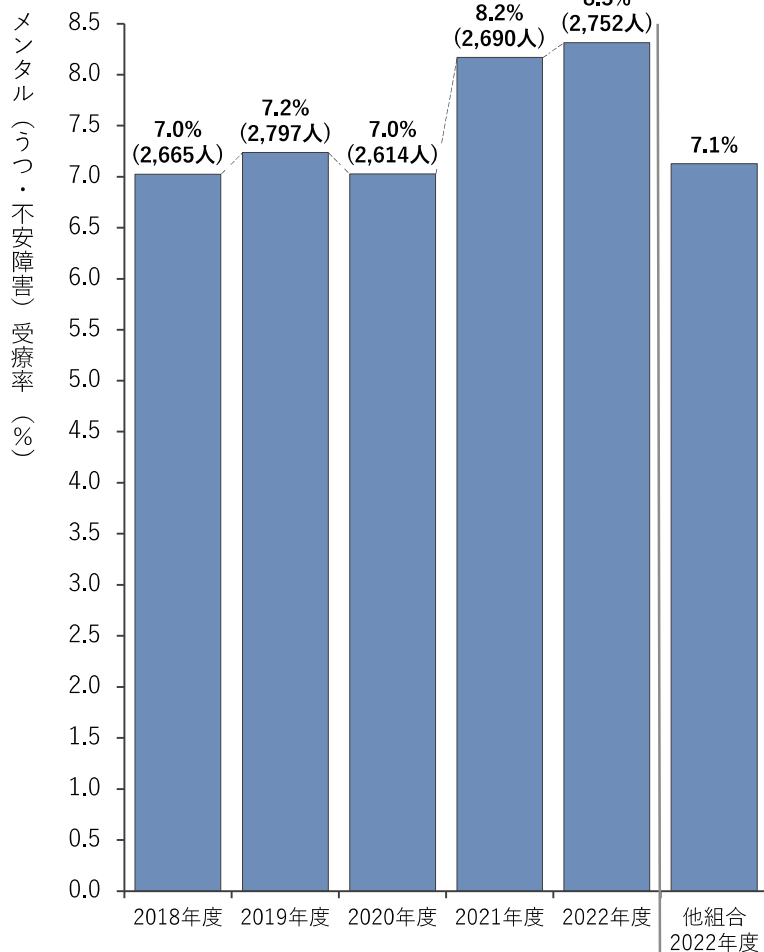


メンタル疾患対策 〈気分障害（うつ病など）・神経性障害（不安障害など）〉

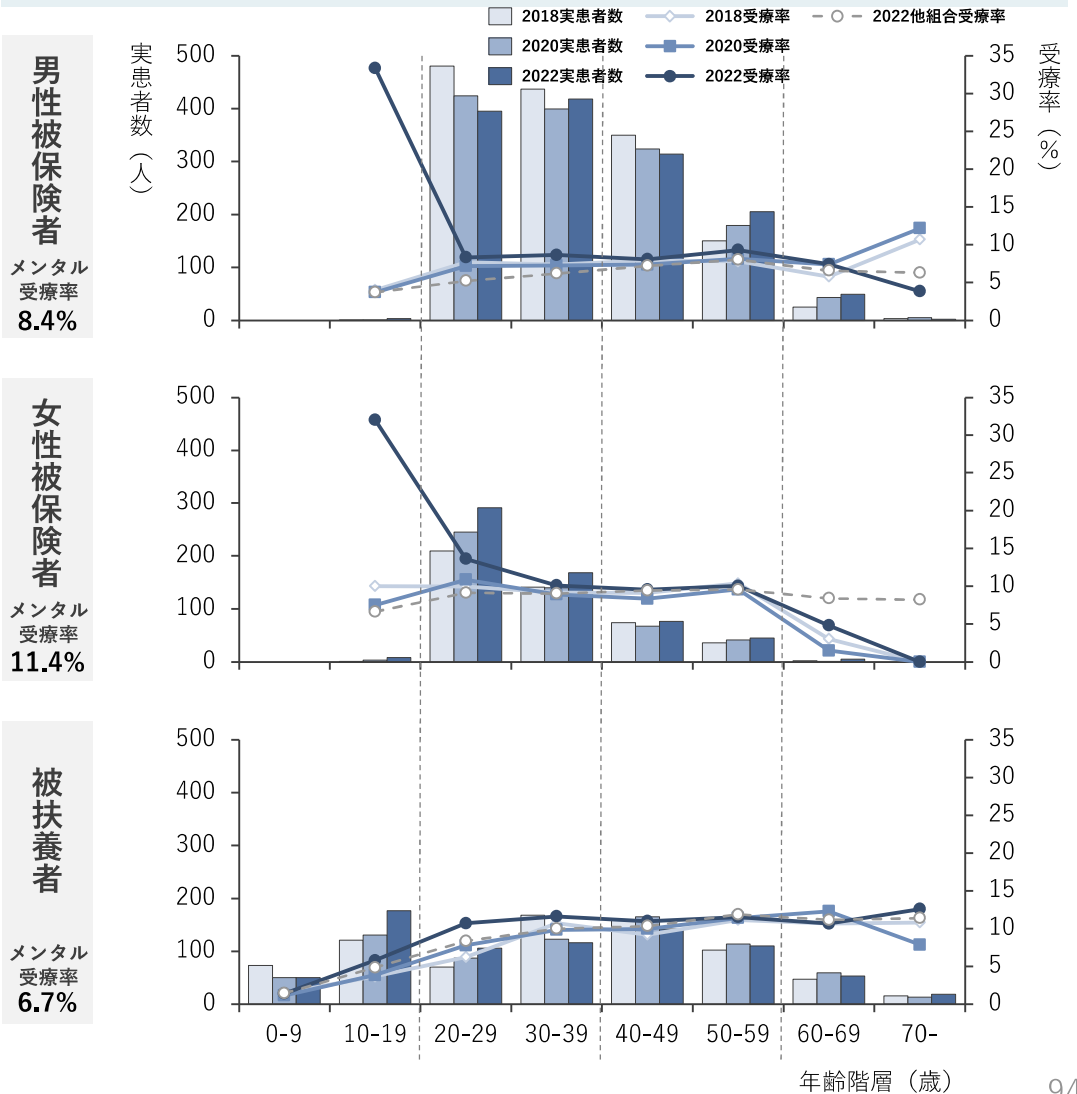
※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

- 他組合より受療率が高く、経年で増加傾向にある
- 20代女性の受療率が特に高い

年度別 メンタル受療率



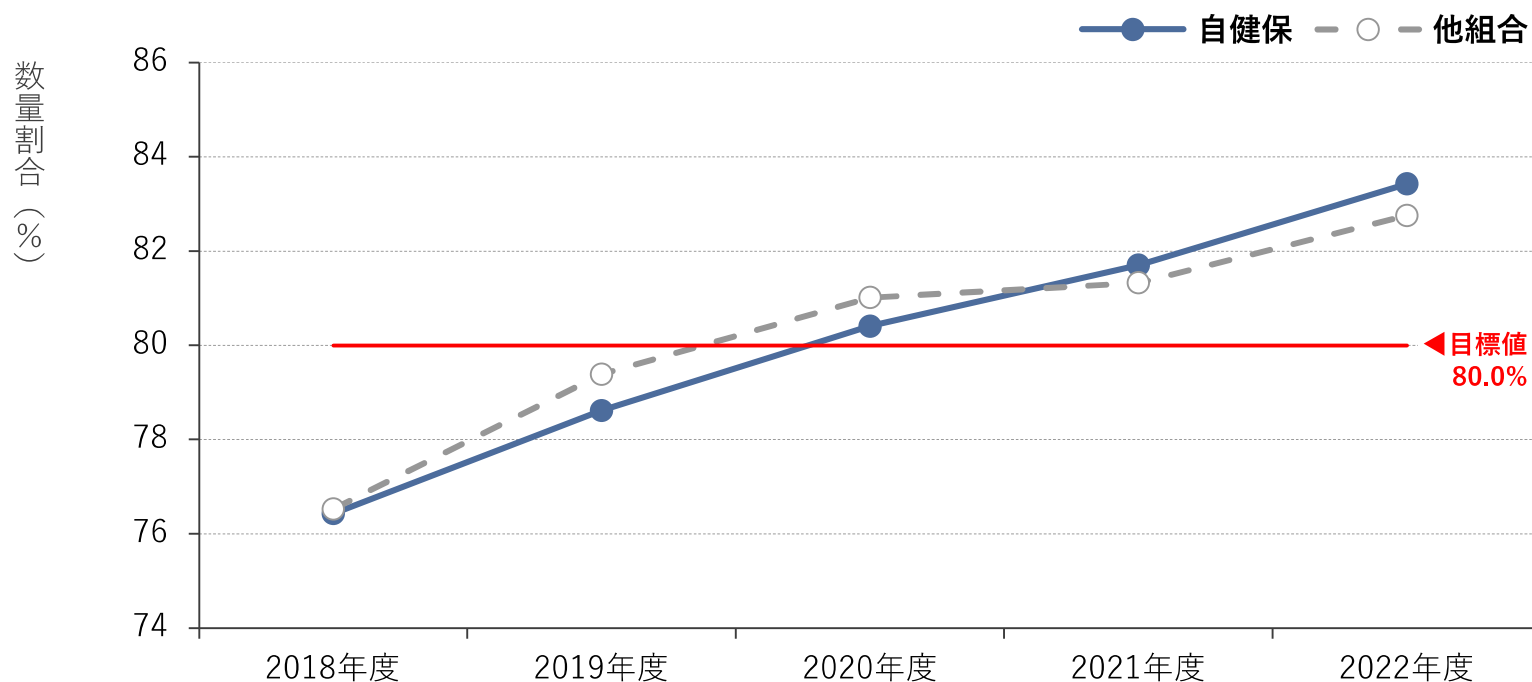
年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）



医療費適正化対策 〈年度別 後発医薬品数量割合推移〉

※対象レセプト：全て
 ※各年度末月（3月度）の数量割合

●20年度以降で全体の切替率が80%を超えているが、22年度の医科入院外では66.0%、歯科では54.6%である



レセプト種別 後発医薬品数量割合

レセプト種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
医科入院	83.8%	86.8%	84.8%	83.5%	89.1%
医科入院外	61.4%	63.5%	64.1%	66.9%	66.0%
調剤	80.4%	82.5%	84.4%	85.0%	87.0%
歯科	43.4%	45.5%	55.6%	50.9%	54.6%
全レセプト	76.4%	78.6%	80.4%	81.7%	83.4%

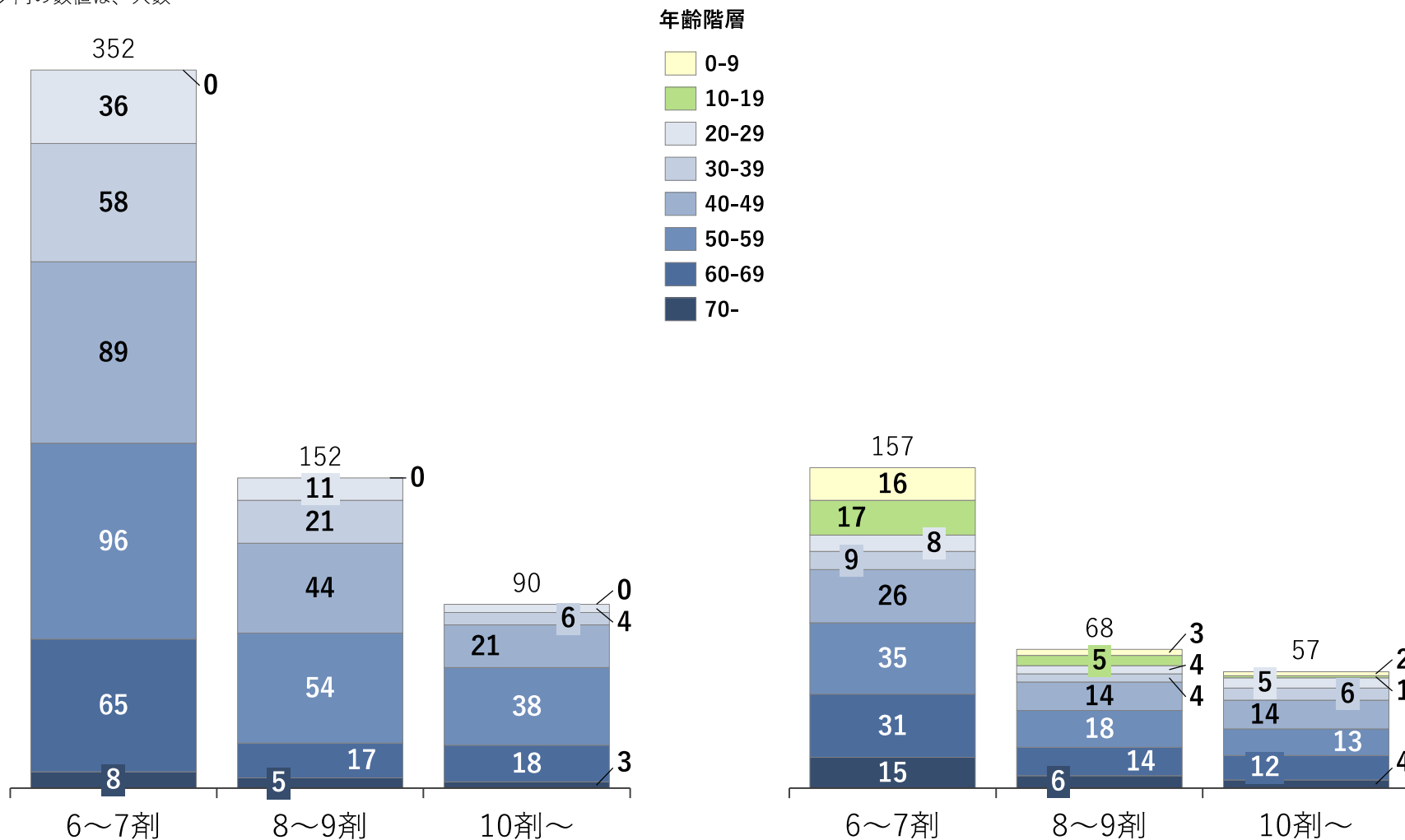
医療費適正化対策 ポリファーマシー

※対象：2023年1月～3月のレセプト
 ※1剤の定義：同月内・同一医療機関・同一成分の処方
 14日以上のもを1剤としている
 ※個人ごとの最大剤数で集計

●健康被害や有害事象が増加すると言われる6剤以上の処方者が被保険者で594人、被扶養者で282人存在する

被保険者 多剤服用者割合：9.0% **被扶養者** 多剤服用者割合：7.0%

グラフ内の数値は、人数



医療費適正化対策 〈医療費レンジ別加入者数・医療費〉

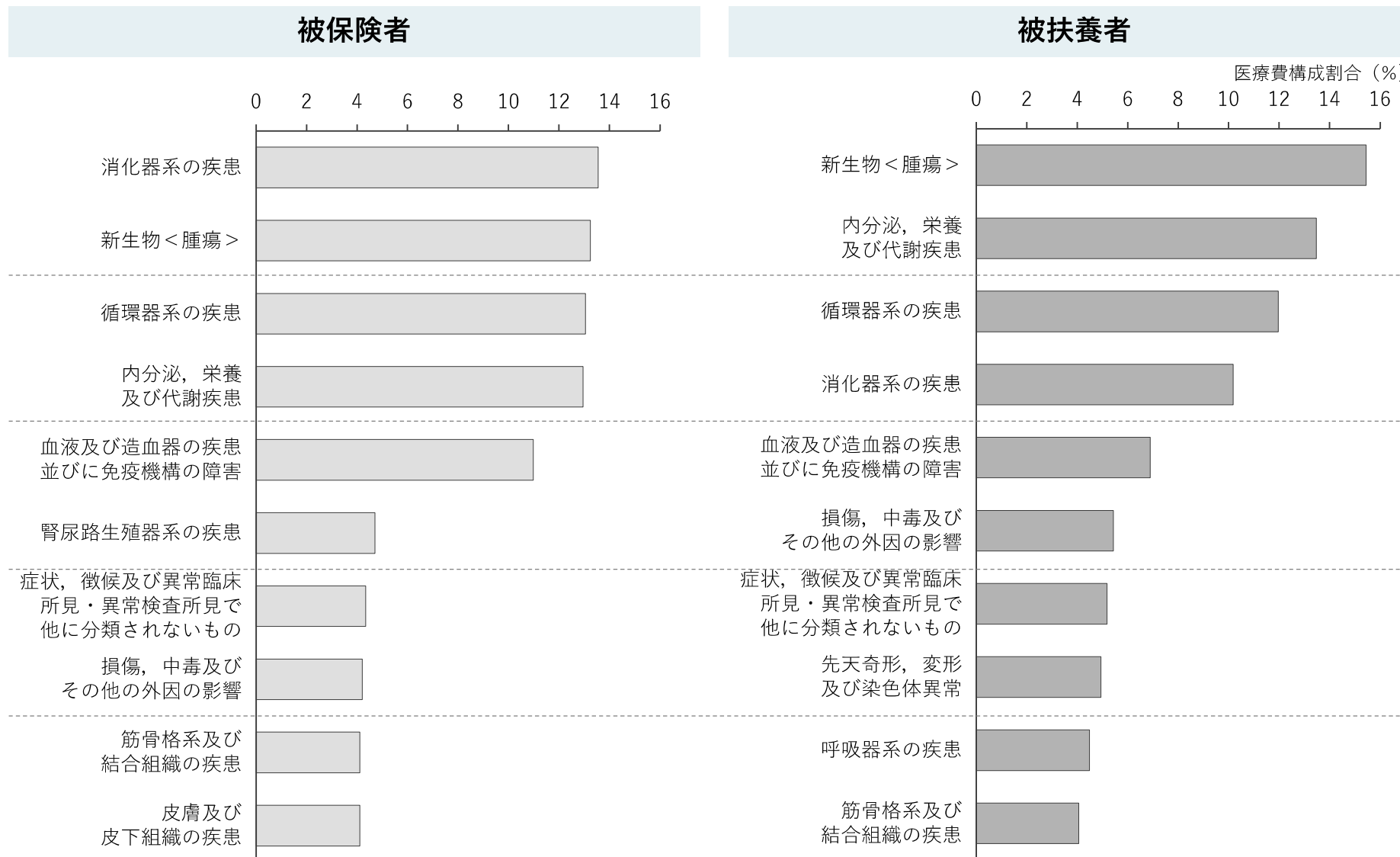
●21年度から22年度にかけて1円～10万円未満の患者数が191人減少しているが、10万円～50万円未満の患者数は1,201人増加している

年間医療費 レンジ	加入者					医療費				
	人数（人）			割合		医療費（百万円）			割合	
	2021年度	2022年度	増減 (2022 - 2021)	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	増減 (2022 - 2021)	2021年度	2022年度
0円	5,143	4,223	-920	15.6%	12.8%	0	0	0	0.0%	0.0%
1円～10万円未満	17,169	16,978	-191	52.1%	51.3%	734	768	34	15.1%	15.1%
10万円～50万円未満	9,379	10,580	1,201	28.5%	32.0%	1,877	2,110	234	38.7%	41.4%
50万円～100万円未満	712	777	65	2.2%	2.3%	486	526	39	10.0%	10.3%
100万円～200万円未満	295	305	10	0.9%	0.9%	405	430	24	8.4%	8.4%
200万円～300万円未満	94	104	10	0.3%	0.3%	229	253	23	4.7%	5.0%
300万円～400万円未満	42	46	4	0.1%	0.1%	145	156	11	3.0%	3.1%
400万円～500万円未満	26	24	-2	0.1%	0.1%	116	109	-8	2.4%	2.1%
500万円～	73	68	-5	0.2%	0.2%	855	747	-109	17.6%	14.6%
合計	32,933	33,105	172			4,848	5,097	249		

医療費適正化対策 高額患者の医療費構成割合

※対象：2022年度 年間医療費100万円以上の者
 ※医療費抽出方法：PDM法
 ※対象レセプト：医科、調剤
 ※疑い傷病：含む

- 被保険者は、消化器系の疾患、新生物、循環器系の疾患の医療費が多数を占める
- 被扶養者は、新生物、内分泌・栄養及び代謝疾患、循環器系の疾患の医療費が多数を占める



医療費適正化対策 高齢者の医療費因数分解 〈60~64歳〉

※○○%：変化率
※○○pt：変化値

- 22年度の加入者あたり医療費は18年度から20.7%増加している
- 22年度の患者あたり医療費は18年度から20.5%増加している

